

学級集団をそだてる

小学校劇脚本選

初 級



日本演劇教育連盟編

学級集団をそだてる

小学校劇脚本選

初 級

日本演劇教育連盟編

 日本演劇教育連盟

学級集団をそだてる 小学校劇脚本選 初級

国土社 1965

259 p 22 cm

 内容：チルチルとミチル（富田博之作），他23編

基本カード記載例

 昭和40年10月30日 初版発行

©

 編者との
了解で検
印を廃す

定価 680円

編者 日本演劇教育連盟

発行者 長 宗 泰 造

印刷所 株式会社 厚 徳 社

発行所 株式会社 国 土 社

 学級集団をそだてる
小学校劇脚本選
＜初級＞

 東京都文京区高田豊川町37
振替・東京 90631番
電話 (943) 3721(代)～5

45人が王さまになったら

「ほく、王さまになるよ」

「わたし、王さまがいいわ」

げきをするとき、クラスのみんな45人が、ひとりのこ
らず王さまになったらどうでしょう。45人、王さまばか
りがでるげきなんてありませんね。この本にも、そんな
きやくほんはありません。

さて、そんなときには、どうしたらいいでしょうか。

王さまになる子を、どうしてきめたらいいでしょう
か。みんなでかんがえてみてください。

45 人が王さまになったら..... 1

■ どんなげきかをするためのくわしいもくじ..... 5

チルチルとミチル「げきあそび」..... 富田博之 13

こしかけのくぎ「バントマイム」..... 永井鱗太郎 17

いまにみえるよ..... 清水俊夫 23

おしくらごんべ..... 落合聡三郎 29

おたまじやくし..... 小池タミ子 37

お山の汽車ぼっほ..... 和田たかお 45

夜の教室で..... 尾崎正三 53

先生のおうちへ..... 粉川光一 59

あまぐりさん..... 市川由郎 69

かごの中のすずめ..... 中村晋 79

きんちゃんはしゃしんやさん..... 片山利雄 87

おしゃべりなたまごやき「よびかけ」..... 谷口幸子 95

うちのとうちゃんえらいんだ……………竹内 永 105

こ と り の お う ち……………小池 タミ子 113

こうちょう先生はおともだち……………小林 嘉彦 121

ささはらのこえ〔野外劇〕……………金子 緯一郎 129

きりかぶ五つ……………齋 田 喬 137

きつねの子うさぎの子……………落合 聡三郎 147

十五夜お月さま……………齋 田 喬 157

小さい白いにわとり……………田 中 一徳 167

一寸法師〔人形のでるけき〕……………勝 尾 金弥 177

さるきちとピョンきち……………嶋 路 和夫 187

こいぬのコロちゃん……………岡 部 房子 197

おもちゃのチャチャチャ……………射 向 哲也 209

■作品にと作者ついて……………225

■楽 譜……………256

■学級集団をそだてるために……………257

■編集

日本演劇教育連盟

■編集委員

石	原	直	也
漆	原	喜一	郎
岡	部	邦三	郎
加	藤	則	夫
金	子		真
菊	田		要
北	村	小	夜
佐	々	木	博
庄	司	弘	美
高	橋	昭	一
谷	川	隆	二
谷	口	幸	子
富	田	博	之
平	井	まど	か

■装幀, 装置図

市川禎男



どんなげきかをするための くわしいもくじ

チルチルとミチル へげきあそびⅤ

■富田博之

チルチルとミチルが「青い鳥」をさがしにいきます。川をわたり、山をこえ、あ
るいていきます。みちがわかれているところでは、のばらさんにききます。森の
なかでは、木の上のりすさんにききます。山をのぼっていった、ことりさんにき
きます。「青い鳥」は、なかなかみつかりません……。

〔じかんⅡ約4分〕
出る人Ⅱ男女6

13

こしかけのくぎハバントマイムⅤ

■永井鱗太郎

朝の教室です。きく子がこしをおろそうとすると、こしかけにくぎが出ていま
す。たみおのこしかけととりかえます。たみおが来てゆり子のこしかけととりか
えます。ゆり子もあきらのこしかけととりかえます。あきらは石をひろってきて、
こしかけをなおします。これを見て、三人もなおしはじめます。

〔じかんⅡ約9分〕
出る人Ⅱ男2、女2

17

いまにみえるよ

■清水俊夫

ゆうがたです。うさぎ一が、空を見えています。それを見て、うさぎ二、三も、
たぬきたちも、いぬたちも、さるたちも、ロケットがとぶとか、空とぶ円ばんだ
などといっただけ見えています。ところが、うさぎ一は、はがいくつ、じっと空を見て
いたのです。とんだまちがいに、みんなは大わらいです。

〔じかんⅡ約9分〕
出る人Ⅱ男女10数人

23





おしくらごんべ

■落合聡三郎

さむい冬の朝です。きよしたちは、おしくらごんべ（おしくらまんじゅう）をはじめました。ぽかぽかあったかくなりました。そこへ、らんぼうものの七郎がやってきました。おしくらごんべにいてくれというので、いれてやりましたが、ひどくらんぼうです。みんなは力をあわせて七郎をやっつけます。

おたまじゃくし

■小池タミ子（作曲）田田 繁

けんじたちは、おたまじゃくしをとりにいきました。ところが、池のあったところは、うめたてられて、はらっぱになっていました。工場がたつのです。みんなは、がっかりしました。おたまじゃくしは、どこへいってしまったのでしょうか。ようやく、小さな池にいるというのをきき、もらいにいきます。

お山の汽車ぼっぼ

■和田たかお

きつねが、大きな石を汽車のせんろにのせていたずらしようとします。おさるさんが、うんでんする汽車がやってきました。たいへんです。くまのえきちやうさんだけでは、石をどけられません。山のどうぶつたちみんなにたのんでけてもらいます。それを見ていて、きつねさんも、わるかったと気がつきます。

夜の教室で

■尾崎正三

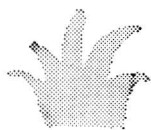
二年生の正夫くんは、ふでばこを教室にわすれてきてしまいました。そのばん、ゆめを見ました。教室の中で、ふでばこや、けしごむや、えんぴつたちがはなしをしていました。正夫くんが、ペンきょうどうぐをらんぼうにあつかうのでめいわくしていると、正夫くんは、みんなにあやまりました。

【じかん】約10分
【出る人】男7名 29

【じかん】約10分
【出る人】男女大ぜい 37

【じかん】約10分
【出る人】男女大ぜい 45

【じかん】約10分
【出る人】男6、女3 53





先生のおうちへ

■粉川 光一

子どもたちが、かくれんぼや汽車ごっこをしてあそんでいます。そこへ、はる子が、てがみを出しにきます。先生がびようきだということです。さあ、たいへんです。みんなは先生のおうちへ、おみまいにいくことにしました。先生のびようきは、もうだいぶよくなっているのですが、子どもたちは出かけます。

あまぐりさん

■市川 由郎

秋のゆうぐれです。ひとりっ子の健一は、おかあさんのかえりをまっています。ともだちもかえて、たったひとりです。おかあさんがおやつにいてくれたあまぐりが一つだけのこっていたのですが、ほうりあげてあそんでいるうちになくなりました。健一はいっしんにさがします。

かごの中のすずめ

■中村 晋

すずめがいわ、わなにかかって、かごの中にいれられています。ねこがやってきて、すずめをたべようとします。これを見たとんぼは、ねこに、むこうにいいにくいがあるからと、うそをついてつれていき、そのあいだに、みんなにたすけてもらいます。みんなが力をあわせて、すずめをたすけたのです。

きんちゃんはしゃしんやさん

■片山 利雄

きんちゃんが、カメラをもってきました。おとうさんのカメラを、そうっともちだしたのです。とくいになって、みんなをとってやるまねをします。そこへ、きんちゃんのおかあさんがよんでるといってきます。きんちゃんはしかられるとおもいます。だが、それはおつかいのようじでした。

〔じかん〕約11分
〔出る人〕男6、女6 59

〔じかん〕約11分
〔出る人〕男女大ぜい 69

〔じかん〕約12分
〔出る人〕男8、女5 79

〔じかん〕約12分
〔出る人〕男4、女3 87





おしゃべりなたまごやき へよびかけV……………
【じかんⅡ約12分】……………95
■谷口幸子／寺村輝夫の童話より
（作曲Ⅱ三好信子）

あるくに、たまごのりようりのだいきな王さまがありました。あさも、ひるも、ばんも、たまごをたべています。たまごさえたべていれば、きげんがいいのです。あるとき、にわとりごやのとをあけてしまいました。にわとりがおどろいて、たまごをうまくなりました。王さまは、どうしたでしょうか。

うちのとうちゃんえらいんだ……………
【じかんⅡ約13分】……………105
■竹内 永
【出る人Ⅱ男女大ぜい】……………

子どもたちが大ぜいひろばであそんでいます。あきららは、おとうさんがしやちようだといっています。よしおは、おとうさんが、でんしゃのうんでんしゆだといっています。まさおのおとうさんはだいくさん、きみこのおとうさんは自動車をつくる工員です。あきららはみんながうらやましくなります。

ことりのおうち……………
【じかんⅡ約13分】……………113
■小池タミ子（作曲Ⅱ三好信子）
【出る人Ⅱ男女大ぜい】……………

あたたかい春の日、ことりたちが、すをつくっています。たべものをさがしにいているあいだに、のねずみたちがやってきて、すをみつけ、いいかごをみつけたともってしまいます。ことりたちがかえってきて、おおさわぎになりますが、のねずみたちが、花をいれているのがわかり、あんしんします。

こうちよう先生はおともだち……………
【じかんⅡ約13分】……………121
■小林嘉彦
【出る人Ⅱ男4、女1】……………

ごろちゃんたちのボールが、こうちようせんせいのへやにとびこみました。とりにはいろうとしますが、こわくてはいれません。そこへ、みよちゃんがきました。こうちようせんせいのへやに、花をかざってやろうと、いうのです。こうちようせんせいがよくこんで、ボールをとってくれました。





ささはらのこえ 〆野外劇〰

〔じかん〱約15分
出る人〱男女大ぜい〕 129

■金子緯一郎（作曲〱天田 繁）

うさぎたちが、ナシの木をあつめて、ナシばたけをつくらうとしています。おおかみがじやますが、うさぎは、おなかのすいたねずみにおにぎりをやったおれいに、大きなナシの木のあるところをおしえてもらいます。ささの葉のうたにおしえられ、うさぎたちは、とうとう、ナシの木を手にいれます。

きりかぶ五つ

〔じかん〱約14分
出る人〱男女大ぜい〕 137

■斎田 喬（作曲〱松葉 良）

はらっぱに、きりかぶが五つならんでいます。うさぎ一、二、三、四、五、六がやってきて、このきりかぶをつかって、いろいろなあそびをします。きょうは、うさぎ一のだんじょうびなのです。なかまはずれになる子があったり、はちあわせをしたり、おおさわぎ。おしまい、みんなでたのしくおどります。

きつねの子うさぎの子

〔じかん〱約15分
出る人〱男女大ぜい〕 147

■落合聡三郎

冬の山の中。かあさんぎつねが、えものをとりについているあいだに、きつねの子のキツタとキツコは、うさぎの子のウロとウルたちとなかよしになり、たのしくあそびます。そこへかあさんぎつねがかえってきて、子うさぎたちをとらえようとします。子うさぎたちは、あぶないところをにげていきます。

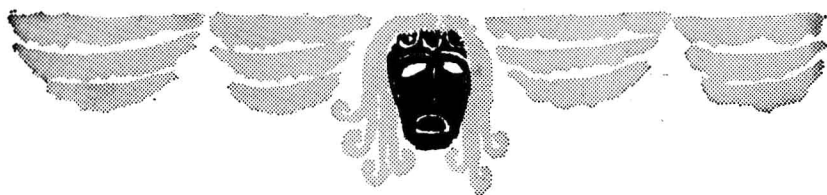
十五夜お月さま

〔じかん〱約15分
出る人〱男女大ぜい〕 157

■斎田 喬（作曲〱松葉 良）

十五夜のばん、どうぶつたちが、にぎやかにはやしていると、赤い雲、白い雲たちが出てきます。こまっていると、としよりうさぎが雲のことはきいて、雲も、うたやおどりを見たがつっているとおしえます。みんながおどると雲たちがかえっていき、大きな十五夜のお月さまがのぼりました。





小さい白いにわとり

■田中一徳（作曲Ⅱ三好信子）

ぶた、ねこ、いぬがあそんでいるあいだに白いにわとりは、せつせとむぎをまき、とり入れをし、こなにひき、パンをつくりました。パンをたべるのははたらいた人にしようということになりました。はたらいたのはだれでしょうか。ぶた、ねこ、いぬは、もんくをいうことができず、あやまりました。

一寸法師

■勝尾金弥

一寸法師が、みやこにやってきて、大臣のおひめさんといっしょに清水へいきました。オニが出てきて、ひめをさらおうとしました。一寸法師のかつやくでオニはにげました。うちでのこづちをすてていきました。こづちをふると、一寸法師は、りっぱなわかものになりました。めでたし、めでたし。

さるきちとピョンきち

■嶋路和夫

さる吉がマツボックリをなげてあそんでいると、ピョン吉のあたまにあたります。ピョン吉は石をぶつつけられたとうたえます。そこでさる吉はピョン吉がわるくちをいうので、つかまえようとしたら、石につまずいてころんだといっています。おやたちがおこりだし、おおさわぎになります。

こいぬのコロちゃん

■岡部房子（作曲Ⅱ小川正己）

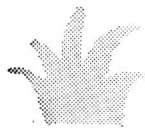
かわい小犬がうまれたので、かあさん犬が、やぎの村長さんのところへ、名まえをどけにいきます。るすのあいだ、小犬がなきたので、どうぶつたちがこまり、なぐさめたり、あそんでやったりしていると、かあさんがかえってきます。コロという名まえをつけたのです。みんながおいわします。

〔じかんⅡ約15分〕
〔出る人Ⅱ男女5名〕 167

〔じかんⅡ約16分〕
〔出る人Ⅱ男3、女1〕 177

〔じかんⅡ約17分〕
〔出る人Ⅱ男女大ぜい〕 187

〔じかんⅡ約19分〕
〔出る人Ⅱ男女16名〕 197





おもちゃのチャチャチャ

■射向哲也

「じかん」約23分
出る人＝男女大ぜい

209

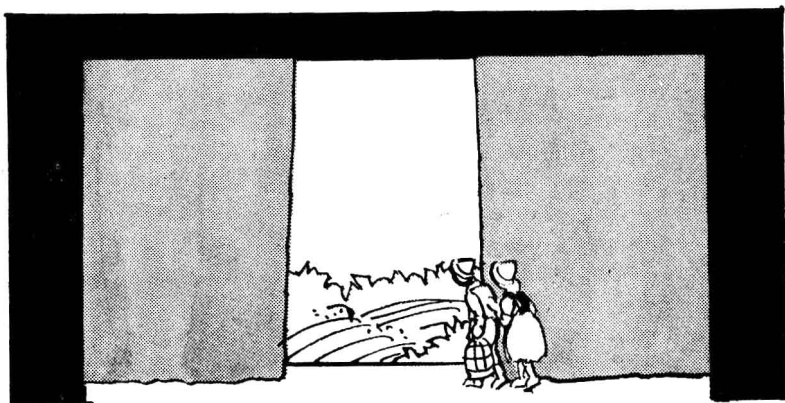
子どもAはおもちゃをかしてももらえないので、Bのおもちゃをこわします。お
もちゃのヘイタイが出てきて、こわしたおもちゃをはこんでいきます。AとBの
けんかとなり、Bがたおれると、Bもつれていかれます。やがて、こわれたおも
ちゃのたいそうがはじまり、AとBは、なかなかおります。



チルチルとミチル

〔げきあそび〕

とみ た ひろ ゆき
富 田 博 之



—

チルチルとミチルは、青いとりをさがしにいきました。ふたりが、のほらがあるいていくと、川がながれています。

チルチル あつ、川がながれている。

川 サラサラ、サラサラ……。

ミチル はしがないわ。どうしましょう。

チルチル 川さん、川さん、この川はあさいですか、ふかいですか。

川 あさい、あさい。サラサラ……。

ミチル あさいならわたれるわ。

チルチル さあ、あるいてわたろう。

ふたりは川をわたります。

ミチル 川さん、ありがとう。

川 さようなら。サラサラ……。

チルチル さようなら。

二

しばらくいくと、みちが二つにわかれていて、白いのぼらの花が、さいっていました。

チルチル あつ、みちが二つにわかれている。

ミチル 青いとりは、どっちにいるのかしら。

チルチル のぼらさんに、きいてみよう。

のぼらさん、のぼらさん、どっちのみちをいけば、青いとりがいますか。

のぼら こっち、こっち。こっちのみちをいきなさい。

チルチル のぼらさん、ありがとう。
のぼら さようなら、気をつけてね。